

安全データシート

ジクロロ酢酸

改訂日: 2024-01-24 版番号: 1

1. 化学品及び会社情報

製品識別子

製品名	: ジクロロ酢酸
CB番号	: CB5671951
CAS	: 79-43-6
EINECS番号	: 201-207-0
同義語	: ジクロロ酢酸

物質または混合物の関連する特定された用途、および推奨されない用途

関連する特定用途	: 有機合成原料, 医薬原料(化学工業日報社)
推奨されない用途	: なし

会社ID

会社名	: Chemicalbook
住所	: 北京市海淀区上地十街匯煌国際1号棟
電話	: 400-158-6606

2. 危険有害性の要約

2.1 GHS分類

金属腐食性化学品 (区分1), H290

発がん性(区分2), H351

生殖毒性 (区分1B), H360

授乳に対する又は授乳を介した影響, H362

このセクションで言及された H-ステートメントの全文は、セクション 16 を参照する。

水生環境有害性 短期（急性） (区分1), H400

眼に対する重篤な損傷性 / 眼刺激性 (区分1), H318

皮膚腐食性 / 刺激性 (細区分1A), H314

急性毒性, 経皮 (区分3), H311

特定標的臓器毒性（反復ばく露）, 経口 (区分2), 脳, 肝臓, 精巣, H373

2.2 注意書きも含む GHSラベル要素

絵表示

GHS05	GHS06	GHS08	GHS09

注意喚起語

危険

危険有害性情報

H351 発がんのおそれの疑い。

H360 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ。

H400 水生生物に非常に強い毒性。

H373 長期にわたる、又は反復ばく露（経口）による臓器の障害のおそれ（脳、肝臓、精巣）。

H362 授乳中の子に害を及ぼすおそれ。

H314 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷。

H311 皮膚に接触すると有毒。

H290 金属腐食のおそれ。

注意書き

安全対策

P201 使用前に取扱説明書を入手すること。

P280 保護手袋 / 保護衣 / 保護眼鏡 / 保護面を着用すること。

P273 環境への放出を避けること。

P270 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

P264 取扱い後は皮膚をよく洗うこと。

P263 妊娠中及び授乳期中は接触を避けること。

P234 他の容器に移し替えないこと。

P202 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

応急措置

P391 漏出物を回収すること。

P361 + P364 汚染された衣類を直ちに全て脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

P308 + P313 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察 / 手当てを受けること。

P305 + P351 + P338 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

P301 + P330 + P331 飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

P390 物的被害を防止するためにも流出したものを吸収すること。

P303 + P361 + P353 皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水【又はシャワー】で洗うこと。

保管

P406 耐腐食性 / 耐腐食性内張りのある耐腐食性容器に保管すること。

P405 施錠して保管すること。

廃棄

P501 内容物 / 容器を承認された処理施設に廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 化学物質

化学特性(示性式、構造式等) : C₂H₂Cl₂O₂

分子量	: 128.94 g/mol
CAS番号	: 79-43-6
EC番号	: 201-207-0
化審法官報公示番号	: 2-1161
安衛法官報公示番号	: 2-(4)-657

4. 応急措置

4.1 必要な応急手当

一般的アドバイス

応急措置担当者は自分が暴露しないよう、適切な防護を行う。この安全データシートを担当医に見せる。

吸入した場合

吸入後は新鮮な空気を吸うこと。ただちに医師の診察を受けること。

皮膚に付着した場合

皮膚に接触した場合: すべての汚染された衣類を直ちに脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。直ちに医師を呼ぶ。

眼に入った場合

眼に触れた後は多量の水ですすぐこと。ただちに眼科医の診察を受けること。コンタクトレンズをはずす。

飲み込んだ場合

飲み込んだ後は水を飲ませ(多くてもグラス2杯)、嘔吐を避ける(穿孔のリスクあり)嘔吐物の誤嚥後は呼吸不全のおそれ。直ちに医師を呼ぶ。中和させようとしないこと。

4.2 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

もっとも重要な既知の徴候と症状は、ラベル表示(項目2.2を参照)および/または項目11に記載されている

4.3 緊急治療及び必要とされる特別処置の指示

データなし

5. 火災時の措置

5.1 消火剤

適切な消火剤

水噴霧、耐アルコール泡消火剤、粉末消火剤、二酸化炭素を使用すること。

5.2 特有の危険有害性

塩化水素ガス

火災時に有害な燃焼ガスや蒸気を生じるおそれあり。

高熱で空気と反応して爆発性混合物を生じる

蒸気は空気より重く、床に沿って広がることもある。

可燃性。

炭素酸化物

粉じん爆発のおそれ。

5.3 消防士へのアドバイス

自給式呼吸器がある場合のみ危険区域に留まってもよい。安全なゾーンまで離れるか適切な保護衣を着用して、皮膚に触れないようにすること。

5.4 詳細情報

ガス / 蒸気 / ミストを水スプレージェットで抑える（除去する）。消火水が、地上水または地下水のシステムを汚染しないようにする。

6. 漏出時の措置

6.1 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

救急隊員以外への助言: 蒸気、エアゾールを吸入してはならない。触れないようにすること。十分な換気を確保する。危険なエリアから避難し、緊急時手順に従い、専門家に相談のこと個人保護については項目 8 を参照する。

6.2 環境に対する注意事項

物質が排水施設に流れ込まないようにする。

6.3 封じ込め及び浄化の方法及び機材

排水溝に蓋をすること。こぼれたら集めて結合させ、ポンプですくい取る。物質の制限があれば順守のこと (セクション 7、10参照) 液体吸収剤(例. Chemisorb®)で処置すること。正しく廃棄すること。関係エリアを清掃のこと。

6.4 参照すべき他の項目

廃棄はセクション13を参照。

7. 取扱い及び保管上の注意

7.1 安全な取扱いのための予防措置

安全取扱注意事項

換気フードの下で作業すること。吸い込まないこと。蒸気やエアロゾルが生じないようにすること。

衛生対策

汚した衣類はただちに替えること。予防的な皮膚保護を講じること。本物質を取り扱った後は手と顔を洗うこと。注意事項は項目2.2を参照。

7.2 配合禁忌等を踏まえた保管条件

保管条件

密閉のこと。換気のよい場所で保管する。鍵をかけておくか、資格のあるまたは認可された人のみが出入りできる場所に入れておく。保管安定性推奨された保管温度2 - 8 °C不活性ガス下で取り扱い、貯蔵する。

7.3 特定の最終用途

項目1.2に記載されている用途以外には、その他の特定の用途が定められていない

8. ばく露防止及び保護措置

8.1 管理濃度

コンポーネント別作業環境測定パラメータ

TWA: 0.5 ppm - 米国。ACGIH限界閾値 (TLV)

8.2 曝露防止

適切な技術的管理

汚した衣類はただちに替えること。予防的な皮膚保護を講じること。本物質を取り扱った後は手と顔を洗うこと。

保護具

眼 / 顔面の保護

NIOSH (US) または EN 166 (EU) などの適切な政府機関の規格で試験され、認められた眼の保護具を使用する。密着性の高い安全ゴーグル

皮膚及び身体の保護具

本推奨は、当社発行の安全データシートに記載されている製品およびその指定の使用法のみ適用される。溶解、他の物質との混合、および EN374 に記載の逸脱条件での使用については、CE 認証手袋のサプライヤに問い合わせのこと (例. KCL GmbH, D-36124 Eichenzell, Internet: www.kcl.de)

フルコンタクト

材質: バイトン®

最小厚: 0.7 mm

破過時間: 480 min

試験物質: Vitoject? (KCL 890 / Aldrich Z677698, Size M)

本推奨は、当社発行の安全データシートに記載されている製品およびその指定の使用法のみ適用される。溶解、他の物質との混合、および EN374 に記載の逸脱条件での使用については、CE 認証手袋のサプライヤに問い合わせのこと (例. KCL GmbH, D-36124 Eichenzell, Internet: www.kcl.de)

飛沫への接触

材質: クロロプレン

最小厚: 0.65 mm

破過時間: 120 min

試験物質: KCL 720 Camapren®

身体の保護

耐酸性の防護衣類

呼吸用保護具

気化ガス/エアロゾル発生時に必要 次の規格に準拠しているフィルター式呼吸器保護具を推奨します。DIN EN 143、DIN 14387 および使用済み呼吸器保護システムに関連する他の付属規格。

環境暴露の制御

物質が排水施設に流れ込まないようにする。

9. 物理的及び化学的性質

Information on basic physicochemical properties

外観 形状: 透明, 液体色: 無色

臭い 刺激臭

臭いのしきい(閾)値	データなし
pH	1.2 at 129 gm/l at 20 °C
融点 / 凝固点	融点/ 範囲: 9 - 11 °C - lit.
沸点, 初留点及び沸騰範囲	194 °C - lit.
引火点	113 °C - 密閉式引火点試験
蒸発速度	データなし
可燃性 (固体、気体)	データなし
引火上限/下限または爆発限界	データなし
蒸気圧	0.19 hPa at 20 °C
蒸気密度	4.45 - (空気=1.0)
比重	1.56 at 20 °C
水溶性	可溶
n-オクタノール / 水分配係数 (log 値)	log Pow: 0.92 - (Lit.), 生物濃縮は予測されない。
自然発火温度	データなし
分解温度	データなし
粘度	動粘度 (動粘性率) : 4.696 mm ² /s at 20 °C 2.716 mm ² /s at 40 °C 粘度(粘性率): データなし
爆発特性	データなし
酸化特性	データなし
相対ガス密度	4.45 - (空気=1.0)

9.2 その他の安全情報

相対ガス密度

4.45 - (空気=1.0)

10. 安定性及び反応性

10.1 反応性

引火点より下のおよそ15ケルビンからの範囲は危険とみなされている。

高熱で空気と反応して爆発性混合物を生じる

10.2 化学的安定性

標準的な大気条件(室温)で化学的に安定。

10.3 危険有害反応可能性

次と激しく反応

塩基類

強還元剤

金属

水

次により発熱反応を生じる

メルカプタン

次との反応で燃焼ガスや蒸気の発火または生成のおそれ

硫黄化合物

強酸化剤

アミン

フルフリルアルコール

次との反応で爆発のおそれ

10.4 避けるべき条件

強力な熱

10.5 混触危険物質

金属との反応で水素が発生する。

10.6 危険有害な分解生成物

火災の場合:項目5を参照

11. 有害性情報

11.1 毒性情報

急性毒性

備考: (ECHA)

LD50 経皮 - ウサギ - 797 mg/kg

吸入: データなし

(OECD 試験ガイドライン 401)

LD50 経口 - ラット - 2,820 mg/kg

皮膚腐食性 / 刺激性

備考: (RTECS)

結果: 重度の火傷を起こす。

皮膚 - ウサギ

眼に対する重篤な損傷性 / 眼刺激性

重篤な眼の損傷。

備考: (RTECS)

結果: 重篤な眼の損傷。

眼 - ウサギ

呼吸器感作性又は皮膚感作性

データなし

生殖細胞変異原性

テストシステム: マウスリンパ腫細胞

方法: OECD 試験ガイドライン 476

テストシステム: 大腸菌/ネズミチフス菌

投与経路: 経口

投与経路: 経口

結果: 陰性

細胞型: 肝細胞

試験タイプ: 遺伝形質転換齧歯動物の体細胞遺伝子変異アッセイ

結果: 陰性

方法: OECD 試験ガイドライン 473

代謝活性化: 代謝活性化の存在または不存在

テストシステム: チャイニーズハムスター卵巣細胞

試験タイプ: in vitro染色体異常試験

結果: 陰性

方法: OECD 試験ガイドライン 471

代謝活性化: 代謝活性化の存在または不存在

試験タイプ: Ames 試験

結果: 陰性

代謝活性化: 代謝活性化の存在または不存在

試験タイプ: in vitro哺乳動物細胞遺伝子変異試験

細胞型: 骨髄

試験タイプ: 小核試験

備考: (ECHA)

結果: 陰性

種: マウス

方法: OECD 試験ガイドライン 475

種: ラット

発がん性

データなし

生殖毒性

特定標的臓器毒性（単回ばく露）

経口 - 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ。 - 脳, 肝臓, 精巣

データなし

生殖能への悪影響のおそれ。研究では授乳期間中の乳児に対する有害性を示す

胎児への悪影響のおそれ。

特定標的臓器毒性（反復ばく露）

誤えん有害性

データなし

11.2 追加情報

RTECS: AG6125000

粘膜、上気道、眼および皮膚の組織に極めて有害である。、咳、息切れ、頭痛、吐き気

化学的、物理的および毒性学的性質の研究は不十分と考えられる。

12. 環境影響情報

12.1 生態毒性

データなし

ミジンコ等の水生無脊

EC50 - *Daphnia magna* (オオミジンコ) - 106 mg/l - 24 h

椎動物に対する毒性

備考: (ECOTOX データベース)

12.2 残留性・分解性

生分解性

好気性 - 曝露時間 15 d

結果: 93 % - 易分解性。

(OECD 試験ガイドライン 301F)

12.3 生体蓄積性

データなし

12.4 土壤中の移動性

データなし

12.5 PBT および vPvB の評価結果

化学物質安全性評価が必要ではない/行っていないため、PBT/vPvB評価データはない。

13. 廃棄上の注意

13.1 廃棄物処理方法

製品

内容及び容器は、関連法規及び各自治体の条例等の規制に従い、産業廃棄物として適切に処理すること。

14. 輸送上の注意

14.1 国連番号

ADR/RID (陸上規制): 1764 IMDG (海上規制): 1764 IATA-DGR (航空規制): 1764

14.2 国連輸送名

ADR/RID (陸上規制): DICHLOROACETIC ACID

IATA-DGR (航空規制): Dichloroacetic acid

IMDG (海上規制): DICHLOROACETIC ACID

14.3 輸送危険有害性クラス

ADR/RID (陸上規制): 8 IMDG (海上規制): 8 IATA-DGR (航空規制): 8

14.4 容器等級

ADR/RID (陸上規制): II IMDG (海上規制): II IATA-DGR (航空規制): II

14.5 環境危険有害性

該当

ADR/RID: 該当 IMDG 海洋汚染物質(該当・非該当): IATA-DGR (航空規制): 非該当

14.6 特別の安全対策

なし

14.7 混触危険物質

金属との反応で水素が発生する。

15. 適用法令

15.1 物質または混合物に固有の安全、健康および環境に関する規則/法律

国内適用法令

消防法:

第4類:引火性液体, 第三石油類, 危険等級Ⅲ, 水溶性液体

毒物及び劇物取締法:

劇物 - ジクロロ酢酸

労働安全衛生法

特定化学物質障害予防規則:

非該当

有機溶剤中毒予防規則:

非該当

名称等を表示すべき危険物及び有害物:

法第57条 (施行令第18条) - ジクロロ酢酸

名称等を通知すべき危険物及び有害物:

法第57条の2 (施行令別表第9) - ジクロロ酢酸

化学物質排出把握管理促進法:

第2種指定化学物質 - ジクロロ酢酸

16. その他の情報

略語と頭字語

EC50: 有効濃度 50%

IATA: 国際航空運送協会

TWA: 時間加重平均

STEL: 短期暴露限度

RID: 鉄道による危険物の国際運送に関する規則

LD50: 致死量 50%

LC50: 致死濃度 50%

IMDG: 国際海上危険物

CAS: ケミカルアブストラクトサービス

ADR: 道路による危険物の国際輸送に関する欧州協定

参考文献

【1】労働安全衛生法 ウェブサイト <https://www.mhlw.go.jp>

- 【2】 化学物質審査規制法（化審法） <https://www.env.go.jp>
- 【3】 化学物質排出把握管理促進法（PRTR法） <https://www.chemicoco.env.go.jp>
- 【4】 NITE化学物質総合情報提供システム（NITE-CHRIP） <https://www.nite.go.jp/>
- 【5】 カメオケミカルズ公式サイト <http://cameochemicals.noaa.gov/search/simple>
- 【6】 ChemIDplus、ウェブサイト <http://chem.sis.nlm.nih.gov/chemidplus/chemidlite.jsp>
- 【7】 ECHA - 欧州化学物質庁、ウェブサイト <https://echa.europa.eu/>
- 【8】 eChemPortal - OECD 化学物質情報グローバルポータル、ウェブサイト http://www.echemportal.org/echemportal/index?pageID=0&request_locale=en
- 【9】 ERG - 米国運輸省による緊急対応ガイドブック、ウェブサイト <http://www.phmsa.dot.gov/hazmat/library/erg>
- 【10】 有害物質に関するドイツ GESTIS データベース、ウェブサイト <http://www.dguv.de/ifa/gestis/gestis-stoffdatenbank/index-2.jsp>
- 【11】 HSDB - 有害物質データバンク、ウェブサイト <https://toxnet.nlm.nih.gov/newtoxnet/hsdb.htm>
- 【12】 IARC - 国際がん研究機関、ウェブサイト <http://www.iarc.fr/>
- 【13】 IPCS - The International Chemical Safety Cards (ICSC)、ウェブサイト <http://www.ilo.org/dyn/icsc/showcard.home>
- 【14】 Sigma-Aldrich、ウェブサイト <https://www.sigmaaldrich.com/>

免責事項:

本MSDS中の情報は指定された製品にのみ適用され、特に規定がない限り、本製品とその他の物質の混合物には適用されません。本MSDSは、製品使用者の適切な専門的なトレーニングを受けた者にのみ製品安全情報を提供します。本MSDSの使用者は、本SDSの適用性について独自に判断しなければならない。本MSDSの著者は、本MSDSの使用によるいかなる傷害にも責任を負わない。